

**Q** 梅毒（ばいどく）が流行している」と聞きました。が、どのような病気ですか？

**A** 梅毒感染者が日本国内で急増しています。特に男性は20代〜50代、女性は20代が増えており、厚生労働省が注意喚起を発する事態になっています。

梅毒の初期症状は、性器や肛門周囲に小さな発疹が出るのが特徴ですが、この症状は数週間で消えてしまいます。その後、感染が進行すると、心臓や脳、骨などに深刻な障害を引き起こす可能性があります。

梅毒は感染した人と性交渉をすることで感染する性感染症の一種です。また、妊婦から胎児に感染することもあります。

梅毒の診断は血液検査で行い、治療はペニシリンなどの抗生物質による薬物療法が一般的です。近年ではペニシリンの筋肉注射が標準治療となっています。梅毒は早期に治療すれば、完治する可能性が高い病気ですので、専門家に相談ください。



かみむらクリニック  
KAMIMURA CLINIC

泌尿器科・内科 / 形成外科・美容外科  
金沢市南新保町口28-1 ☎076-239-8001  
URL <https://kamimura-clinic.jp>



# 急増する梅毒 放置すると心臓などに深刻な障害

●院長  
上村 吉穂 医師

日本泌尿器学会専門医。がん治療認定医。金大医学部卒。市立砺波総合病院、公立松任石川中央病院などに勤務後、2023年3月からかみむらクリニック院長



●副院長  
上村 百合 医師

日本形成外科学会専門医。日本美容外科学会会員。聖マリアンナ医科大学医学部卒。金沢医科大病院などに勤務後、2023年3月からかみむらクリニック副院長

